

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの誘致・開催
主な取組	スポーツコンベンション誘致戦略推進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	<p>・本計画におけるスポーツコンベンションとは、スポーツに関係する合宿、キャンプ、自主トレ、大会、イベント等の総称です。スポーツコンベンションの推進は、沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」や、長期滞在傾向等による経済効果の増大に寄与することから、市町村やスポーツコミッション沖縄等と連携し、各種スポーツキャンプ、合宿やスポーツイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国際大会誘致やアジア等で開催される大会の事前合宿を視野にスポーツコンベンションの誘致を進めるため、受入希望市町村と連携し、スポーツキーパーソン招聘や合宿実証等に取り組む。	県,市町村,スポーツコミッション沖縄	スポーツコンベンションの誘致		
		スポーツ団体合宿実証件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業			予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	66,690	57,599	一括交付金 (ソフト)	委託	66,835
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
スポーツコンベンション誘致拡大のため、スポーツキーパーソン招聘2件、スポーツ団体合宿実証9件、スポーツコンベンション誘致広報活動を行った。				スポーツコンベンション誘致拡大のため、スポーツキーパーソン招聘6件、スポーツ団体合宿実証9件、スポーツコンベンション誘致広報活動を行う。		

活動指標名	スポーツ団体合宿実証件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	4件	5件	9件	10件	90.0%	順調	スポーツキーパーソン招聘やスポーツ団体合宿実証を通して、合宿実施における課題検証を行い、合宿受入体制の強化を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

対象団体の都合により直前で中止となった合宿も1件あったが、順調に実施できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
スポーツコンベンション誘致受入の全域的な拡大に向けて、「スポーツコミッション沖縄」を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーにおける支援内容や新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮したセレモニー内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。	「スポーツコミッション沖縄」を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、競技毎に必要なとされる施設・機器、施設改修の必要性、宿泊施設における条件、地元交流等の課題を細かく検証し、合宿誘致・定着に向けた受入体制の強化を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	新たな集積可能性が見込める合宿(競技)の検討が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	離島における合宿実施、女性スポーツ、障害者スポーツ、競技人口増が予想されるアーバンスポーツ等の合宿実証を積極的に進め、課題検証を通して誘致拡大を図る。
⑦ その他(改善余地の検証等)	地理的優位性を生かした誘致戦略、他エリアとの差別化戦略の検討が必要である。	⑧ その他	海外チームの誘致や、医療やウェルネスとも連携したメンタル及びフィジカルリカバリー等、サポート体制構築による沖縄ならではの強みを生かし、「スポーツアイランド沖縄」の形成に寄与する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの誘致・開催
主な取組	スポーツ観光戦略的誘客促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	<p>・本計画におけるスポーツコンベンションとは、スポーツに関係する合宿、キャンプ、自主トレ、大会、イベント等の総称です。スポーツコンベンションの推進は、沖縄観光の課題である「閑散期と繁忙期の平準化」や、長期滞在傾向等による経済効果の増大に寄与することから、市町村やスポーツコミッション沖縄等と連携し、各種スポーツキャンプ、合宿やスポーツイベント、競技大会等のスポーツコンベンションの誘致・開催に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県外、海外からのスポーツ観光誘客を促進するため、設定した重点ターゲット層に対してプロモーション活動を実施するとともに、スポーツ観光として来県した観光客の受け入れニーズを把握し、消費単価拡大等に向けた取組みを戦略的に実施する。</p>	県	重点ターゲット設定、戦略的プロモーション	戦略的プロモーション	
		スポーツ観光プロモーション件数(累計)		
		26件	30件(56件)	30件(86件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツ観光戦略的誘客促進事業			予算事業名	スポーツ観光戦略的誘客促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	104,703	54,741	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	61,130
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
スポーツ観光誘客を推進するため、マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行った。				スポーツ観光誘客を推進するため、マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行う。		

活動指標名	スポーツ観光プロモーション件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	45件	53件	57件	26件	100.0%	順調	テレビ、雑誌、WEB等のメディア、スポーツチームを活用したプロモーションの実施とともに、ランニング、サイクリングコースの紹介やゴルフ場の情報等、通年で楽しめるスポーツ環境のプロモーションを展開した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標を上回る57件のプロモーションを実施し、スポーツを通じた観光誘客の推進を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの実態把握により、誘客ターゲット層を明確に定め、エビデンスに基づいた消費単価の拡大、長期滞在に向けた取り組みにつなげる必要がある。 ・スポーツイベントだけではなく、沖縄において少人数でも楽しめるランニング、サイクリング、スポーツアクティビティの魅力を発信するとともに、関連施設、受入体制の安全面も併せてPRする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来から継続して取り組んできたプロモーション事業に付帯して、観光客へのアンケート調査を強化し、スポーツツーリズムの実態や動向の把握に努める。 ・スポーツへの関心は高くないが旅行への関心が高い層へターゲットの幅を広げ、スポーツイベントだけではないプロモーションに取り組む。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	本県の自然的特性や地理的特性を活かしたスポーツツーリズムの推進にあたっては、本県の魅力がより活かせる地域、種目、客層へのプロモーションを推進する必要がある	⑦ 取組の時期・対象の改善	本県の魅力がより活かせる地域(アジア、内陸県など)、種目(ランニング、サイクリング、ゴルフ、空手など)、客層(富裕層、スポーツ愛好家、トップアスリートなど)に対するプロモーションを推進する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	コンテンツ制作やプロモーションの実施にあたっては、地域プロスポーツチームや国際大会等を効果的に活用する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	令和5年度においては、令和5年8月に開催されるFIBAバスケットボールワールドカップ2023を活用したプロモーションを実施する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄観光の課題である消費単価の向上、滞在日数の長期化に対して取組む必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	スポーツツーリズムの実態を調査するとともに、プロモーションのターゲットを選定し、消費単価拡大、長期滞在に向けた取組みを検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツツーリズム等の促進
主な取組	プロ野球キャンプ等訪問観光促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	<p>・本県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションを積極的に展開し、地元プロスポーツチーム等を活用したイベント、キャンプ地訪問観光、各種アウトドアスポーツ・アクティビティ等を目的とするスポーツツーリズムや県民と観光客が一体となって楽しめる‘スポーツ・健康×観光’といった沖縄のソフトパワーを活用した高付加価値コンテンツの開発を促進するとともに、各競技のニーズに対応する施設・設備等の整備や医療機関、リハビリ、コンディショニング施設等との連携を進めたスポーツ医・科学拠点形成等の環境整備に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
プロ野球キャンプ観戦を目的とした観光誘客を推進し、来訪者の増加を図るため、プロ野球キャンプ集積地ならではの全県的な取組を行う。	県,市町村	プロ野球キャンプ開催地としてのブランド化の確立、プロ野球キャンプ期間中の来訪者の増加及び経済効果の拡大		
		プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客数(累計)		
		88,700人	88,700人(177,400人)	88,700人(266,100人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業			予算事業名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	32,652	30,623	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	31,938
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
プロ野球キャンプを目的とした来訪者の増加を図るためのプロモーション、情報発信、機運醸成、感染症対策等受入市町村と連携した取組等を実施した。				プロ野球キャンプを目的とした来訪者の増加を図るためのプロモーション、情報発信、機運醸成等受入市町村と連携した取組等を実施する。		

活動指標名	プロ野球キャンプ等を目的とした 県外観光客数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		0人	9,000人	49,000人	88,700人	55.2%	大幅遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客数について、新型コロナウイルス感染防止対策が緩和された中での有観客開催となったが、県外からの観客がコロナ禍以前の水準までは戻ってはならず、目標の88,700人に対し実績は落ち込んだ。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
ガイドブックやポータルサイト、SNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、地域振興に寄与する取組を実施する。	ガイドブックやポータルサイト、SNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、キャンプ地における感染防止対策に関する周知や受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、地域振興に寄与する取組を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	受入市町村や球団と連携し、来訪意欲につながるプロモーションや来訪者満足度を高める取組が必要である。	② 連携の強化・改善	キャンプに訪問する観光客がコロナ禍前の人数に徐々に戻ってきているため、これまで以上に受入市町村との連携を強化しながら全県的にプロ野球キャンプの機運醸成を高めていけるよう取組を推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○スポーツツーリズム等の促進
主な取組	サッカーキャンプ誘致戦略推進		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	<p>・本県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションを積極的に展開し、地元プロスポーツチーム等を活用したイベント、キャンプ地訪問観光、各種アウトドアスポーツ・アクティビティ等を目的とするスポーツツーリズムや県民と観光客が一体となって楽しめる‘スポーツ・健康×観光’といった沖縄のソフトパワーを活用した高付加価値コンテンツの開発を促進するとともに、各競技のニーズに対応する施設・設備等の整備や医療機関、リハビリ、コンディショニング施設等との連携を進めたスポーツ医・科学拠点形成等の環境整備に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
サッカーキャンプの誘致を推進し、市町村及びキャンプ実施チーム等との連携強化、キャンプを目的とした観光客の増加及び経済効果の向上・地域活性化を図ることで、サッカーキャンプ地としてのブランド化を図る。	県	サッカーキャンプを目的とした観光客の増加及び経済効果の向上			
		プロサッカーキャンプを目的とした県外観光客数(累計)			
		17,185人	17,185人(34,370人)	17,185人(51,555人)	
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課		【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業			予算事業名	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	27,633	52,276	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	49,748
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等を行った。				サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等を行う。		

活動指標名	プロサッカーキャンプを目的とした県外観光客数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0人	0人	7,030人	17,185人	40.9%	大幅遅れ	県外クラブ訪問等の誘致活動やキャンプ受入市町村の芝環境を整備したこと等により、キャンプ実施クラブの拡大を図った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
3年ぶりに有観客でのサッカーキャンプ開催となったが、コロナ禍以前の観客数は戻ってはならず、目標の17,185人に対し実績は7,030人と落ち込んだ。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> サッカーキャンプ受入市町村やクラブ等と連携し、受け入れ施設やホテル等でのコロナ対策を講じるとともに、陽性者が出た際の対応を関係者全員で共有し、受入体制の強化を図る。 受入市町村とクラブが連携し、観光資源やキャンプ情報を効果的に発信することにより、サッカーファンの関心を集め、コロナ後の誘客を図る。 受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を徹底し、陽性者が出た場合の対応窓口も事前に確認の上、3年ぶりに有観客でのサッカーキャンプを実施した。 実施にあたっては、観光資源やキャンプ情報を効果的に発信し、サッカーキャンプを目的とした観光客数を増加させる取り組みを行った。 また、受入グラウンド創出支援や巡回支援を通して、受入施設の整備を実施した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	これまで以上に各種情報発信等を強化し、スポーツツーリズムの促進及び地域振興に繋げる必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	ガイドブック作成に加え、WEBサイトやSNSを活用した情報発信の強化、さらには受入市町村やクラブとの連携強化による効果的な情報発信によりサッカーファンの関心を集め、観光客数の増加を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	J1規格スタジアムの整備		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるJ1規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県のスポーツ及び観光振興に寄与するJリーグ規格のサッカースタジアムの整備に向けて取り組む。	県	整備事業の推進		
		着手に向けた条件整理		
		条件整理	条件整理	条件整理
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【 098-866-2077 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/sports/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツアイランド沖縄推進費			予算事業名	サッカースタジアム整備等推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	3,856	20,391	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	21,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
現整備計画等を踏まえ、整備費の縮減、運営収支の改善等に向けた検討調査を行った。				現整備計画等を踏まえ、スタジアムの規模や構造、複合機能について実現性の高い手法を検討するとともに、PFI手法による整備について調査を行う。		

活動指標名	着手に向けた条件整理		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		整備条件の検討	調査実施	調査実施	条件整理	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

事業方式については、従来型の公設民営方式に加え、様々な財源確保の観点から、民間活力を導入するPFI方式についても整備手法の一つとして検討を行った。財源については、公設民営やPFI等の事業方式（スキーム）や整備規模などを踏まえ、様々な財源の組合せを検討した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・財源確保に向けて、Jリーグの施設基準を満たす中での整備費の縮減策の検討やランニングコストの改善に向けて試合開催日以外の多目的利用など収益確保策の検討を行う。また経済効果や税収効果等を算出し、スタジアム整備の事業効果を明らかにしていく。 ・技術職員の配置など大規模プロジェクトを推進するための組織体制の確保に向けて取り組み、事業の進捗管理や法規制の対応協議を効率的に推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築面積やスタンド、諸室の仕様を見直すことによる整備費の縮減や、スポンサーシップやホスピタリティを充実させることなどにより収入増が見込まれることが示された。 ・令和5年度からPFI手法を活用した大型MICE施設の整備を進めるMICE推進課へ所管課を移し、庁内の検討体制の強化を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和4年度調査を踏まえ、実現性の高い手法等について、検討していく必要がある。	⑧ その他	Jリーグスタジアム基準に沿った段階整備の可能性の検証や、PFI手法の導入等に係る調査を行い、実現性の高い整備の方向性について検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	スポーツコミッション沖縄体制整備		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるJ1規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツを目的とした来訪者の利便性向上のため、各種スポーツ合宿等の誘致・受入を行うワンストップ窓口としてスポーツコミッション沖縄を設置し、スポーツアイランド沖縄の認知度向上と誘客拡充を図る。	県,スポーツコミッション沖縄	県外・海外スポーツ団体と県内競技団体・市町村のマッチング		
		競技連盟(各国代表クラス)の合宿件数(累計)		
		31件	31件(62件)	31件(93件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツコミッション沖縄体制整備事業			予算事業名	スポーツコミッション沖縄体制整備事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	30,000	30,000	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	30,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県スポーツ協会に設置している「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施した。				沖縄県スポーツ協会に設置している「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施する。		

活動指標名	競技連盟（各国代表クラス）の合宿件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	20件	15件	24件	31件	77.4%	概ね順調	各種スポーツキャンプ等の誘致・受入を行う際のワンストップ窓口として、スポーツコンベンション実施に係る相談対応等の各種取組を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>WEBサイトにおける県内スポーツ施設の情報掲載、SNS等を活用した情報発信により、合宿件数は昨年度より9件増加した。 背景として令和4年度は感染防止対策が徐々に緩和されたことにより、合宿実施の辞退がなかったこと・国内外の渡航が制限無く実施できたことが件数増加の要因と考えられる。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント等への出展において、沖縄のスポーツ環境等のPR活動を行う。 ・公共スポーツ施設改善アドバイザー派遣により、県内スポーツ環境を改善するとともに、キーパーソン招聘など県内市町村を巻き込んだ取組により沖縄県のスポーツ環境について周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントへ7件出展し、沖縄のスポーツ環境等のPRツールを活用したPR活動を実施した。 ・ラグビートップリーグ所属のチームに対して誘致活動を実施し、2チームに対して施設コーディネートを実施した。 ・公共スポーツ施設改善アドバイザー派遣を6件実施し、県内スポーツ環境の改善を図った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	県内スポーツ合宿を一過性に終わらせず継続的に実現し、地域の活性化に寄与している先進的な市町村の取組状況を、他の市町村へ横展開することで県全体のスポーツコンベンション活性化を図る必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	国内・海外からのスポーツ合宿需要が高まりつつある中で合宿実施に最適な沖縄のスポーツ環境をPRすることが必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
③ 他地域等事例を参考とした改善	公共スポーツ施設改善アドバイザー派遣により、他地域の好事例等を参考にしながら県内スポーツ環境の改善を行う。
⑤ 情報発信等の強化・改善	スポーツイベントへの出展やキーパーソン招聘など県内市町村を巻き込んだ取り組みにより沖縄県のスポーツ環境について周知を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	①スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成
			施策の小項目名	○J1規格スタジアムの整備やスポーツ交流受入拠点の充実
主な取組	スポーツコンベンション振興対策		対応する成果指標	スポーツコンベンション開催実績
施策の方向	・スポーツコンベンションの核となるJ1規格スタジアムの整備、地域・観光交流拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実や老朽化・耐震化対策等を推進するとともに、スポーツ交流の受入拠点の充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する。	県,スポーツコミッション沖縄	国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るための各種スポーツコンベンションの歓迎支援			
		プロ野球、サッカーキャンプにおける歓迎支援件数(累計)			
		45件	45件(90件)	45件(135件)	
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課		【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツアイランド沖縄推進費			予算事業名	スポーツアイランド沖縄推進費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	3,016	3,024	県単等	委託	5,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対して地域特産品を贈呈するなど、スポーツコンベンションの気運醸成等を図った。				県内キャンプ実施チーム等に対する地域特産品贈呈やFIBAワールドカップ歓迎レセプションなど、スポーツコンベンションの気運醸成を図る。		

活動指標名	プロ野球、サッカーキャンプにおける歓迎支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	32件	39件	59件	45件	100.0%	順調	沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチームに対して地域特産品や花束の贈呈等を行ったほか、ウェルカムボードや横断幕を制作するなど、県民を挙げてのスポーツコンベンション受入歓迎の気運醸成を図る。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>歓迎支援件数は、プロ野球で14件、プロサッカーで20件、その他スポーツ25件の計59件となり、目標値を達成した。 要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による感染症防止対策が徐々に緩和されたことによる合宿件数の増加といった外的要因が挙げられる。 次年度も、引き続きプロスポーツチームを歓迎するための各種取組を実施し、スポーツコンベンション開催の気運醸成を図る。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>スポーツコンベンション誘致受入の全域的な拡大に向けて、「スポーツコミッション沖縄」を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーの実施内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。</p>	<p>各地で実施されたキャンプチームの受入体制等を集約し、受入市町村、関係団体等が参加する連絡協議会において情報共有を図った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	各市町村が主体となって実施している歓迎セレモニーについて、同じカテゴリーのスポーツチームに対しても、自治体間によって歓迎ムードの創出に違いが生じている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	「スポーツコミッション沖縄」を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーの実施内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○グローバルな市場に向けた展開の促進
主な取組	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・スポーツに関連した高付加価値製品・サービスの開発に向けて、トップアスリートのトレーニングに関するデータの活用や医・科学分野との連携強化に取り組むとともに、グローバルな市場に向けた展開を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツアイランド沖縄の形成を推進するため、各種産業の連携による、沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証を支援することで、更なるスポーツコンベンションの推進等を図るとともに、スポーツ関連産業における新たなビジネスモデル(産業)の創出を図る。	県	沖縄におけるスポーツの付加価値構築に向けた実証支援		
		新たな商品やサービスの創出を促す取組に対する支援件数(累計)		
		5件	5件(10件)	5件(15件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業			予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助		62,039	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	67,592
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内のスポーツ環境等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援を行い、新たな商品やサービスの創出を促した。				県内のスポーツ環境等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援を行い、新たな商品やサービスの創出を促す。		

活動指標名	新たな商品やサービスの創出を促す取組に対する支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-件	-件	7件	5件	100.0%	順調	広報物の配布、HP、事業説明会の開催等により提案募集を行った。採択した提案に対しては、専門的知見を有する事務局及び有識者で構成する審査委員会による助言等、後方支援を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
11件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る7件を支援することができた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	単発のスポーツイベントや大会等の実施ではなく、他の産業や課題と連携した取組を促すため、事務局及び有識者で構成する審査委員会の助言等により、実証モデルのブラッシュアップに取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望視されているものの、県内においてはまだ認識が不足しており、周知広報等に改善の余地がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	周知・説明において、他の産業やサービスとの連携を強調することにより、既にスポーツ関連の事業を実施している法人や団体のみならず、県内の各産業分野とスポーツが連携した提案が増加するよう取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○グローバルな市場に向けた展開の促進
主な取組	スポーツ関連産業のグローバル市場への展開		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・スポーツに関連した高付加価値製品・サービスの開発に向けて、トップアスリートのトレーニングに関するデータの活用や医・科学分野との連携強化に取り組むとともに、グローバルな市場に向けた展開を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内企業における海外へのスポーツビジネス展開に係る支援を実施し、沖縄におけるスポーツの付加価値を高める。	国,県,民間等	県内企業における海外へのスポーツビジネス展開		
		県内企業における海外への展開件数(累計)		
		5件	10件(15件)	15件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業			予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助		62,039	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	67,592
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内のスポーツ環境等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援（海外展開を含む）を行った。				県内のスポーツ環境等へ付加価値構築を図る実証モデル等を実施する事業者に対して支援（海外展開を含む）を行う。		

活動指標名	県内企業における海外への展開件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	0件	5件	0.0%	大幅遅れ	活用可能な支援を実施しているものの、当該支援が必ずしも海外展開に限った内容となっていないため、令和4年度は応募がなかった。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>予算事業においては、11件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る7件を支援することができた。しかしながら、海外展開に関する提案応募は0件であった。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>予算事業においては、単発のスポーツイベントや大会等の実施ではなく、他の産業や課題と連携した取組を促すため、事務局及び有識者で構成する審査委員会の助言等により、実証モデルのブラッシュアップに取り組んだ。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望視されているものの、県内においてはまだ認識が不足しており、周知広報等に改善の余地がある。</p>
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>予算事業の対象となり得るものの、当該事業は必ずしも海外展開に限った内容となっていないため、スポーツ関連産業のグローバル展開を重視した予算措置や取組が不足している。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	<p>周知・説明において、他の産業やサービスとの連携を強調することにより、既にスポーツ関連の事業を実施している法人や団体のみならず、県内の各産業分野とスポーツが連携した提案が増加するよう取り組む。</p>
① 執行体制の改善	<p>予算措置及び取組の強化について、早急に推進する必要がある。予算事業において、海外展開に対する支援枠を設けることを検討する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくり
主な取組	県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション促進		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	<p>・スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望とされていることから、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、プロスポーツチームをはじめとする県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりを促進するとともに、スポーツ関連産業の展示会誘致・開催等に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に係る支援を実施し、沖縄におけるスポーツの付加価値を高める。	国,県,民間等	各種スポーツ団体と他産業との連携等による、新たなサービスの創出		
		県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション件数(累計)		
		1件	2件(3件)	3件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業			予算事業名	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助		62,039	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	67,592
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内のスポーツ環境等へ付加価値構築を図る実証モデル等に対して支援（各種スポーツ団体と他産業の連携等によるサービスの創出を含む）を行った。				県内のスポーツ環境等へ付加価値構築を図る実証モデル等に対して支援（各種スポーツ団体と他産業の連携等によるサービスの創出を含む）を行う。		

活動指標名	県内スポーツチームと他産業とのオープンイノベーション件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	0件	1件	0.0%	大幅遅れ	活用可能な支援を実施しているものの、当該支援が必ずしも各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に限った内容となっていないため、令和4年度は応募がなかった。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>予算事業においては、11件の応募があり、審査委員会における審査を経て、目標を上回る7件を支援することができた。しかしながら、各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に向けた提案応募は0件であった。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>予算事業においては、単発のスポーツイベントや大会等の実施ではなく、他の産業や課題と連携した取組を促すため、事務局及び有識者で構成する審査委員会の助言等により、実証モデルのブラッシュアップに取り組んだ。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望視されているものの、県内においてはまだ認識が不足しており、周知広報等に改善の余地がある。</p>
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>予算事業の対象となり得るものの、当該事業は必ずしも各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に限った内容となっていないため、当該取組を重視した予算措置や取組が不足している。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	<p>周知・説明において、他の産業やサービスとの連携を強調することにより、既にスポーツ関連の事業を実施している法人や団体のみならず、県内の各産業分野とスポーツが連携した提案が増加するよう取組む。</p>
① 執行体制の改善	<p>予算措置及び取組の強化について、早急に推進する必要がある。予算事業において、各種スポーツ団体と他産業との連携等による新たなサービスの創出に対する支援枠を設けることを検討する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくり
主な取組	スポーツ関連産業の展示会誘致・開催		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	<p>・スポーツは、新産業の創出に向けて利活用すべき地域資源として有望とされていることから、健康づくり・リハビリテーション、ものづくり、ICT等の既存産業等との連携を強化し、プロスポーツチームをはじめとする県内企業等が新たなスポーツ関連事業を創出しやすい環境づくりを促進するとともに、スポーツ関連産業の展示会誘致・開催等に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
スポーツコンベンション誘致戦略推進事業において、スポーツコンベンション誘致拡大に繋がるスポーツ関連産業の展示会誘致に働きかける。	県,民間等	スポーツ関連展示会の誘致			
		開催地の支援を受けたスポーツ関連展示会開催件数(累計)			
		1件	1件(2件)	1件(3件)	
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課		【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業			予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	66,690	57,599	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	66,835
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
スポーツコンベンション誘致拡大を推進するため、スポーツ関連産業の展示会誘致の働きかけを行った。				スポーツコンベンション誘致拡大を推進するため、スポーツ関連産業の展示会誘致の働きかけを行う。		

活動指標名	開催地の支援を受けたスポーツ関連展示会開催件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	0件	1件	0.0%	大幅遅れ	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業において、スポーツコンベンション誘致に併せてスポーツ関連産業の展示会誘致に働きかけを行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

スポーツ関連産業の展示会誘致に働きかけた結果、令和4年度においては開催に至らなかったが、令和5年度には、スポーツ関連産業の展示会の開催を1件予定している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	スポーツ展示会での出展において、来場者へのスポーツコンベンションの誘致活動に併せて、主催者へのスポーツ展示会の誘致活動を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	スポーツ関連産業展示会開催は主催者の意向に左右され、誘致活動が結果に繋がらないこともある。	⑧ その他	スポーツ関連産業展示会を誘致するため、関係機関との連携をさらに強化し、引き続き働きかけを行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	②スポーツを核とした新たな産業の創出とグローバル展開
			施策の小項目名	○スポーツに関わる多様な人材の育成
主な取組	スポーツマネジメント等人材育成		対応する成果指標	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数
施策の方向	・持続的な県内スポーツ関連産業の発展のため、スポーツマネジメントや指導者などスポーツに関わる多様な人材の育成を大学、競技団体等と連携して取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツ関連産業の発展を牽引し、支える人材の育成に取り組む。	県,大学	スポーツ関連産業の発展を牽引し、支える人材の育成		
		情報収集、制度設計等		
		情報収集	制度設計	カリキュラム内容検討
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
-	-			主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
取組の具体化や予算措置に向けて、有識者との意見交換や民間団体における取組の研究等、情報収集を行った。				有識者との意見交換や民間団体における取組の研究等、情報収集を踏まえて、取組の具体化や予算措置に向けた検討を行う。		

活動指標名	情報収集、制度設計等		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-	-	-	情報収集	情報収集	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

情報収集を行っている段階であり、定性的な指標であるものの、順調に進捗している。この中で、内閣府計上予算による県内の産業人材育成事業の公募においても、スポーツに関連する人材育成事業の提案がなされていることを確認しており、今後は関係機関と一層、連携を深め、取組を推進する。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	有識者との意見交換や民間団体における取組の研究等、情報収集を行った。取組の具体化や予算措置に向けて、進捗の停滞を招かぬよう継続的に実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	スポーツマネジメント等人材育成については、収集した情報に基づき、予算措置や取組の検討を進める必要がある。	① 執行体制の改善	予算措置や取組の具体化について推進する必要がある。国の事業においてもスポーツに関連する人材育成事業の提案がなされていることを確認しており、今後は関係機関と連携を深め、より取組を推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○地域資源を活用したまちづくりやスポーツを通じた国際貢献の促進
主な取組	県内プロスポーツチーム等ホームゲームへの誘客促進		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	・スタジアム・アリーナ、県内プロスポーツチーム及びトップアスリート等の地域資源を活用したまちづくりを進めるとともに、スポーツ関連団体やアスリート、地域企業等の共働による新たな製品・サービスの創出に向けた取組、子どもの居場所づくりへの支援など多様な社会課題の解決やスポーツを通じた国際貢献を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内プロスポーツチーム等のホームゲームへの誘客を促進するため、プロモーション活動を実施する。	県	観るスポーツの機運醸成、県内プロスポーツチーム等との連携		
		県内プロスポーツチーム等ホームゲーム動員数(累計)		
		150,000人	155,000人(305,000人)	160,000人(465,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツ観光戦略的誘客促進事業			予算事業名	スポーツ観光戦略的誘客促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	104,703	54,741	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	61,130
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県外からの誘客については、県内プロスポーツチーム等のアウェイゲームにおいて、ホームゲームへの誘客促進を図るプロモーション活動を行った。				県外からの誘客については、県内プロスポーツチーム等のアウェイゲームにおいて、ホームゲームへの誘客促進を図るプロモーション活動を行う。		

活動指標名	県内プロスポーツチーム等ホーム ゲーム動員数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		95,357人	169,084人	280,092人	150,000人	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内プロスポーツチーム等の観客動員数（琉球ゴールデンキングス（バスケットボール）、FC琉球（サッカー））は増加しており、プロモーションの効果によるほか、県民のプロスポーツ等に対する関心の高まりが認められる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	アウェイゲームの観戦をきっかけに県内観光を楽しむ「アウェイツーリズム」の促進を図るプロモーション活動を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	競技により人気差が生じており、観客動員数が少ない競技も存在している。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	観客動員数の少ない競技について、効果的なPR方法等を検討する必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○地域資源を活用したまちづくりやスポーツを通じた国際貢献の促進
主な取組	スポーツを通じた社会課題解決、国際貢献		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	・スタジアム・アリーナ、県内プロスポーツチーム及びトップアスリート等の地域資源を活用したまちづくりを進めるとともに、スポーツ関連団体やアスリート、地域企業等の共働による新たな製品・サービスの創出に向けた取組、子どもの居場所づくりへの支援など多様な社会課題の解決やスポーツを通じた国際貢献を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子どもの居場所づくり、国際交流に向けた取組を実施する。	県、市町村、民間等	スポーツを通じた社会課題解決、国際貢献への取組		
		県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子どもの居場所づくり、国際交流に向けた取組数(累計)		
		5件	7件(12件)	10件(22件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業			予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
内閣府計上	委託		275,469	主な財源	実施方法	当初予算額
				内閣府計上	委託	815,190
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄の子ども達に対し、同時開催国等と交流する機会を創出する。また、トップアスリート等と子ども達とのバスケットボールを活用した交流を行う。				沖縄の子ども達のFBWC2023沖縄ラウンドへ招待や、同時開催国等との交流機会を創出。また、トップアスリート等と子ども達との交流を行う。		
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業			予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担		55,089	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	224,466
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄の子ども達に対し、同時開催国等と交流する機会を創出する。また、トップアスリート等と子ども達とのバスケットボールを活用した交流を行う。				沖縄の子ども達のFBWC2023沖縄ラウンドへ招待や、同時開催国等との交流機会を創出。また、トップアスリート等と子ども達との交流を行う。		

様式1 (主な取組)

活動指標名	県内自治体におけるスポーツを通じたまちづくり、人材育成、子ども居場所づくり、国際交流に向けた取組数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)		
	-件	-件	16件	5件	100.0%	順調	令和5年8月のFBWC2023開催に向け、県内の子ども達と開催国とのオンライン交流を実施した。加えて、トップアスリートが子ども達にアドバイスや指導を行うバスケットボールクリニックを開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

FBWC2023開催地支援協議会(県、沖縄市、那覇市、宜野湾市、北谷町、県教育庁、FBWC2023日本組織委員会等で構成)において、県内8校・637名の小学生に、オンラインによる国際交流を実施した。また、協議会構成員である4市町に離島(石垣市、宮古島市)を加えた6市町において、計8回・479名の小学生に、トップアスリートや指導者を招聘し、クリニックや質問コーナー等による交流を実施した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	県を事務局とする開催地支援協議会だけでは達成できない取組のため、他組織との連携を図り実施した。具体的には、オンラインによる国際交流においては、県教育庁を通じて県内の小学校へ広く参加校を募り、子ども達の参加機会を創出し、バスケットボールクリニックの開催においては、沖縄県バスケットボール協会の協力を得ることで、会場の確保や参加する子ども達を集めることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	令和4・5年度においては、FIBAバスケットボールワールドカップ2023に向けた取組が実施・予定されているが、令和6年度以降は具体的な取組や予算措置が予定されておらず、検討する必要がある。	① 執行体制の改善	予算措置及び具体的な取組について、早急に推進する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	バスケットボールクリニック開催時に、子ども達の人数が定員に満たない状況が数回あった。	⑤ 情報発信等の強化・改善	窓口となるバスケットボール協会と情報交換し、あらかじめ参加者を多めに募るなど、より多くの子ども達が交流に参加できるように取り組む。

様式1 (主な取組)

--	--

--	--

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○国際競技大会や大規模スポーツイベントの誘致・開催
主な取組	FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	・本県の魅力を活用し、開催地周辺の地域・経済を活性化させる国際競技大会や大規模スポーツイベントを市町村及び関係団体と連携し、誘致・開催に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催に向けた受入体制の構築及び沖縄の子ども達の交流創出等、本大会を活用した地域・経済の振興を図る。	県,市町村	2023年に開催される同大会の開催に向けての支援		
		機運醸成、輸送・警備・ロジスティクス体制構築		
		機運醸成、計画策定	計画に基づく実施	—
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業			予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業	
主な財源	実施方法	R3年度決算額	R4年度決算見込額	R5年度		
内閣府計上	委託		275,469	主な財源	実施方法	当初予算額
令和4年度活動内容				内閣府計上	委託	815,190
<p>沖縄の子ども達と世界との交流、機運醸成としてシティドレッシング等を実施。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の計画を策定した。</p>				令和5年度活動計画		
<p>沖縄の子ども達と世界との交流、機運醸成としてシティドレッシング等を実施。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の計画を策定した。</p>				<p>沖縄の子ども達と世界との交流、機運醸成としてシティドレッシング等を実施。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の構築を実施する。</p>		
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業			予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度決算額	R4年度決算見込額	R5年度		
県単等	負担		55,089	主な財源	実施方法	当初予算額
令和4年度活動内容				県単等	負担	224,466
<p>沖縄の子ども達と世界との交流、機運醸成としてシティドレッシング等を実施。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の計画を策定した。</p>				令和5年度活動計画		
<p>沖縄の子ども達と世界との交流、機運醸成としてシティドレッシング等を実施。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の構築を実施する。</p>				<p>沖縄の子ども達と世界との交流、機運醸成としてシティドレッシング等を実施。また、輸送、警備等大会の受入体制、ファンゾーン等の構築を実施する。</p>		

活動指標名	機運醸成、輸送・警備・ロジスティクス体制構築		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	機運醸成、計画策定	機運醸成、計画策定	100.0%	順調	沖縄の子ども達と世界との交流、トップアスリート等との交流や機運醸成としてシティドレッシング等を実施した。また、輸送、警備、ボランティアの活用等大会の受入体制、ファンゾーン等の計画を策定した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>子ども達と、世界やトップアスリート等との交流により、国際的感覚を養い、スポーツに対する関心・価値を高め、競技力向上及び地域活性化を推進するとともに、大会成功に向けては、県内各地において大会を周知し、機運の醸成を図った。また、令和5年度の開催に向け、出場選手、関係者や観客等の輸送、警備、ボランティアの活用等、大会受入体制の構築に必要な各種計画を策定した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>子ども達とトップアスリート等との交流については、沖縄に関連がある方、かつ子ども達にも関心を持ってもらえるような講師の選定を沖縄県バスケットボール協会等と情報共有等を行いながら実施した。</p> <p>また、令和5年度の大会受入体制の構築に向け、令和4年度中に関係機関のアタックリストを作成し、その機関に対して大会の概要、必要時の協力要請等を予め実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>大会の機運醸成として、モノレールへのラッピングや街中の装飾等を実施した。更なるPRのため、より効果的なPRを行う必要がある。</p> <p>バスケットボール関心層以外へのPRも実施する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<p>より効果的、広範囲にシティードレッシングを実施していく。</p> <p>バスケットボールに関心が高い層以外が興味を持つようなイベントへの出展や、多種多様なプロモーションを実施する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○国際競技大会や大規模スポーツイベントの誘致・開催
主な取組	国際競技大会の開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	・本県の魅力を活用し、開催地周辺の地域・経済を活性化させる国際競技大会や大規模スポーツイベントを市町村及び関係団体と連携し、誘致・開催に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内で開催される国際競技大会について、市町村や関係機関と連携しながら警備や医療提供、観客輸送等の支援を行うとともに、ボランティア募集等を通じて運営ノウハウを蓄積し、次回以降の大会誘致に繋げる。	県,市町村,競技団体	競技団体等と連携した各種国際競技大会、大規模スポーツ大会の誘致及び開催		
		開催地自治体と連携した国際競技大会の開催件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【 098-866-2708 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業			予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした「スポーツアイランド沖縄」形成事業	
主な財源	実施方法	R3年度決算額	R4年度決算見込額	R5年度		
内閣府計上	委託		275,469	主な財源	実施方法	当初予算額
令和4年度活動内容				内閣府計上	委託	815,190
FBWC2023を支援するため、警察や医療機関等と連携し、出場チームや観客等の受入体制を構築するほか、大会ボランティアの募集を行った。				令和5年度活動計画		
予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業			FBWC2023開催期間中、輸送・警備・ボランティア配置など大会運営の支援を行い次回大会誘致に向けたノウハウの蓄積、レガシーの構築を図る。		
主な財源	実施方法	R3年度決算額	R4年度決算見込額	予算事業名	FIBAバスケットボールワールドカップ2023推進事業	
県単等	負担		55,089	R5年度		
令和4年度活動内容				主な財源	実施方法	当初予算額
FBWC2023を支援するため、警察や医療機関等と連携し、出場チームや観客等の受入体制を構築するほか、大会ボランティアの募集を行った。				県単等	負担	224,466
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
FBWC2023を支援するため、警察や医療機関等と連携し、出場チームや観客等の受入体制を構築するほか、大会ボランティアの募集を行った。				FBWC2023開催期間中、輸送・警備・ボランティア配置など大会運営の支援を行い次回大会誘致に向けたノウハウの蓄積、レガシーの構築を図る。		

活動指標名	開催地自治体と連携した国際競技大会の開催件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	1件	1件	100.0%	順調	県も後援した国際大会 (ソフトテニス) が開催されたほか、令和5年度開催予定のFBWC2023に向けて、アスリートや観客等の受入体制、ボランティアの募集、市町村や関係団体等と連携などに取り組んだ。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>FBWC2023開催地支援協議会（県、沖縄市、那覇市、宜野湾市、北谷町、県教育庁、FBWC2023日本組織委員会等で構成）としては、令和5年度の開催に向け、市町村や関係機関、業界団体と連携しながら、出場チームや大会関係者、観客等の受入体制を構築し、支援体制充実のためのボランティア募集を開始した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>沖縄で初めてとなるバスケットボールワールドカップの開催にあたり、市町村や関係機関、業界団体等と連携し、広域的・公共的な視点で、沖縄の子ども達が世界に目を向けるきっかけを創り、地域・経済の活性化を図るとともに、ノウハウを蓄積して次の大規模国際競技大会を誘致することを目指し、各種取組の検討・企画立案を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>県が積極的に国際大会の開催を誘致する仕組み・条件整理ができていないため、受動的な開催支援となっている。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>今後は、本県の地理的特性を生かし、「スポーツアイランド沖縄」の形成を実現するため、国際大会開催の誘致について、県として仕組みを整えた上で積極的に取り組むことを検討する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-ア	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	施策	③スポーツ資源を活用したまちづくり
			施策の小項目名	○各種スポーツイベント開催の推進
主な取組	スポーツイベント開催支援		対応する成果指標	スポーツコンベンション参加者数(県外、海外)
施策の方向	・県民のスポーツ参画意識の向上や競技力向上を図るため、各種スポーツイベント開催を推進し、児童生徒をはじめとする県民がスポーツと接する機会やトップアスリートと交流する機会の創出に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
スポーツツーリズムを推進するため、県内における新たなスポーツイベント創出のための支援を行う。	県	県内におけるスポーツイベントの創出、定着化、自走化に向けた支援		
		スポーツイベント開催支援件数(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	スポーツイベント支援事業			予算事業名	スポーツイベント支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	補助	36,065	22,429	一括交付金 (ソフト)	補助	24,125
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内におけるスポーツイベントについて、新規枠2件、定着枠2件、付帯事業枠2件の補助を行った。				県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け4件以上の補助を行う。		

活動指標名	スポーツイベント開催支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	15件	4件	4件	4件	100.0%	順調	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出を図り、自走化、定着化に向けて4件の補助対象事業者に補助を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化を図られるよう支援枠を設定しており、開催支援件数が目標値に達しているため順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる自走化、定着化を目指した定期的な支援を行う。 イベントの安定的な収入獲得や集客をより多く継続するために、イベントに付帯して行う事業について支援を行う。 スポーツイベント情報を多く扱うWebサイト等を活用して、イベント情報の発信を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーによる面談及びメール等での支援を定期的に行った。 イベントの安定的な収入確保や集客力向上させるため、イベント本体に付帯して行う事業について支援を行った。 スポーツイベント情報を扱うWebサイトを活用し、イベント情報の発信を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	創出したスポーツイベントの自走化・定着化を図るためには、安定的な収入や執行体制の強化が必要である。	① 執行体制の改善	採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる自走化・定着化を目指した定期的な支援を行う。
		① 執行体制の改善	事業者のイベントによる稼ぐ力を向上させるため、引き続きイベント本体に付帯する事業について支援を行う。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	県外・海外からのイベント参加者を向上させるために、沖縄で開催するイベントの魅力伝えるための情報発信を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○施設利用者の安全確保のための対策
主な取組	県立社会体育施設の計画的な改修・修繕		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・各種スポーツコンベンションに対応した施設の整備・充実を推進するとともに、老朽化の進んだ既存施設については、施設利用者の安全確保のための対策を計画的に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
快適にスポーツを行うための機能向上にむけ、社会体育施設の補修維持管理、改築・改修、施設備品の購入等を実施する。	県	水泳プール床タイルの改修工事の実施	水泳プール非常放送設備、中央監視装置及び武道館リモートコントローラの取替工事等の実施	
		安全で良好なスポーツ環境の整備に係る工事件数(累計)		
		1件	2件(3件)	2件(5件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	体育施設整備事業費			予算事業名	体育施設整備事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	19,738	6,456	県単等	直接実施	10,486
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県立武道館及び奥武山水泳プールの換気設備更新工事、奥武山水泳プール床タイル・トラス改修工事等を行った。</p>				<p>県立武道館外壁補修工事、奥武山庭球場人工芝張替工事、ライフル射撃場屋根葺替等工事等を予定している。</p>		

活動指標名	安全で良好なスポーツ環境の整備に係る工事件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	2件	1件	100.0%	順調	奥武山総合運動場内のスポーツ施設の機能維持のため、県立武道館及び奥武山水泳プールの換気設備更新工事、奥武山水泳プール床タイル・トラス改修工事等を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県スポーツ施設に係る個別施設計画に基づきスポーツ施設の機能維持・向上を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>スポーツ施設では、大勢の汗や体温、気合いや歓声等の熱気により室温が一気に上昇するため、一般的な換気機能では不十分である。また、体温が上昇したまま大人数が狭い個室で着替えや休憩をする場面がある。コロナ禍を経験し、換気的重要性が増す中、施設利用に見合う換気設備の強化が必要である。</p>	<p>県立武道館及び奥武山水泳プールの換気設備更新工事を行った。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	県立武道館及び奥武山水泳プールの換気設備更新工事を行うことによって、換気設備の強化を実現できた。	⑥ 変化に対応した取組の改善	今後も社会情勢の変化等を注視しながら沖縄県スポーツ施設に係る個別施設計画に基づき、県立武道館等の体育施設を計画的・効率的に整備していく必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○施設利用者の安全確保のための対策
主な取組	県立社会体育施設の環境整備や接客対応の充実、利用条件の改善、教室・プログラムの充実		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・各種スポーツコンベンションに対応した施設の整備・充実を推進するとともに、老朽化の進んだ既存施設については、施設利用者の安全確保のための対策を計画的に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県民が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、生涯スポーツ社会の実現と競技スポーツの振興を図るため、奥武山総合運動場において指定管理者制度を導入し、施設の整備・充実及び管理・運営を行う。また、管理・運営状況について毎年のモニタリングによる評価を行う。</p>	<p>県指定管理者</p>	施設の環境整備や接客対応の充実、利用条件の改善、教室・プログラムの充実		
		施設利用者満足度		
		92.0%	93.0%	94.0%
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	http://www.ounoyama.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 社会体育施設管理運営費				予算事業名 社会体育施設管理運営費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	182,200	181,600	県単等	委託	182,400
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
奥武山総合運動場について、指定管理者による民間の能力を活用しつつ、効率的かつ円滑な施設管理運営を行い、モニタリングによる評価を実施した。				引き続き指定管理者による効率的かつ円滑な管理運営を行い、県民の健康保持増進のためのサービス向上を図り、モニタリングによる評価を行う。		

活動指標名	施設利用者満足度		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	92%	95%	92%	92.0%	100.0%	順調	奥武山総合運動場について、指定管理者による管理運営の中で、自主事業としてスポーツ教室やイベントの拡充も行い、アンケート結果も満足度の高い結果となった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

基本協定書に基づき、施設の維持管理・運営・自主事業等、全般的に適切な対応ができており、利用者アンケートによる各項目の満足度も概ね90%以上となり、高い評価を維持している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
多様な利用状況に対応できるよう、指定管理者や関係団体等との調整を十分に行い、利用者の利便性向上を図っていく。 コロナ禍においても適切に管理運営ができるよう、感染拡大防止対策、感染状況の把握、施設の利用制限の実施について細かな情報共有を行う。	施設利用については、休場日や時間外の開場、全国規模の大会のための優先利用調整など、県と指定管理者間において、条例及び基本協定等に基づき適切に対応した。 施設利用や自主事業の開催においては、指定管理者において県の指針に基づき適切な感染拡大防止対策のもと運営を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	多様なニーズ(体育施設の設備整備や利用条件、教室・プログラムの開催等)に対応するため、施設の計画的な改修を図るとともに、指定管理者や関係団体等の連携を密にする必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	多様な利用状況に対応できるよう、引き続き指定管理者や関係団体等との連携のもと、利用者の利便性向上を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○スポーツ関連施設におけるICTの活用導入
主な取組	スポーツ施設オンライン予約システムの導入による利便性向上		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・県民、観戦者等が簡易的かつ効果的にスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことができるよう、スポーツ関連施設におけるICTの活用導入に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
誰もが気軽にスポーツにアクセスできるよう利便性の向上を図るとともに、ポストコロナ社会を見据えた、安全安心なスポーツ環境を提供するため、スポーツ関連施設におけるオンライン予約システムを導入する。	県,市町村	県及び県内市町村のスポーツ施設オンライン予約システム導入の推進・促進		
		スポーツ施設オンライン予約管理システム導入市町村数(累計)		
		2市町村(10市町村)	2市町村(12市町村)	2市町村(14市町村)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県立社会体育施設のオンライン予約システム導入に係る予算措置に向けて、指定管理者との意見交換や県内市町村での導入状況等の情報収集を行った。</p>				<p>指定管理者からの意見や県内市町村での先行事例をもとに、専門業者へのヒアリングも踏まえ、具体的な予算措置に向けた検討を行う。</p>		

活動指標名	スポーツ施設オンライン予約管理システム導入市町村数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-市町村	10市町村	2市町村	2市町村 (10市町村)	100.0%	順調	オンライン予約システム導入に係る予算措置に向けて、県立社会体育施設の指定管理者との意見交換や県内市町村での導入状況等の情報収集を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
市町村独自でのシステム導入により、オンライン予約が可能となった体育施設は増加しているものの、未導入である一部の県立体育施設や市町村での新規導入に向けた具体的な取組には至っていない。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	県立社会体育施設の指定管理者との意見交換や県内市町村での先行事例の情報収集を踏まえ、効果的なシステムの仕様を確認しながら予算措置に向けた検討を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	体育施設の予約管理システムを導入している市町村は増加しているものの、県立の体育施設においては未対応の施設もあることから、引き続き予算措置に向けた具体的な検討が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	予約管理システム未導入の県立体育施設については、指定管理者とも連携し、引き続き予算措置に向けた具体的な検討を推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○スポーツ・レクリエーションの場の確保
主な取組	県立学校体育施設の有効活用		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・地域における身近なスポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、公共スポーツ・レクリエーション施設等の整備・充実と適切な管理・運営や学校体育施設の有効活用に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民の健康な身体の育成のため、県立学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の場所の拡充を図る。	県	県立学校体育施設の有効活用の推進		
		一般利用のために学校体育施設を開放している県立学校数(累計)		
		1校(10校)	2校(12校)	3校(15校)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 県立学校体育施設開放事業				予算事業名 県立学校体育施設開放事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	216	388	県単等	直接実施	366
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県民が身近な地域でスポーツのできる環境を提供するため、県立学校体育施設の開放の推進として、管理指導員への報償費及び光熱水費の支給を行った。</p>				<p>県民の健康の保持増進に向け、引き続き県立学校体育施設の開放の取組を行う。</p>		

活動指標名	一般利用のために学校体育施設を開放している県立学校数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-2校	1校	1校	1校 (10校)	100.0%	順調	<p>県民が身近な地域でスポーツのできる環境を提供するため、県立学校体育施設の開放の推進として、管理指導員への報償費及び光熱水費の支給を行った。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
新たに体育施設を開放した学校が1校増となり、目標値である10校(累計)を達成した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>県立学校開放事業は、事業の周知を兼ねた県立学校への意向調査の実施、利用団体となる地域スポーツ団体への周知、利用団体と県立学校のマッチング等により開放校の増加を図る。</p>	<p>新たに開校した県立学校へは個別に訪問し、本事業の周知及び学校側の協力を要請しながら、本事業の周知を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	各県立学校への開放希望調査において、学校側の事情として外部団体への出入りについての管理体制や部活動との利用調整等の理由から、開放に慎重となるケースがある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	本事業の趣旨及び内容について、各県立学校と課題解決に向けた調整を個別に行い、また、利用団体となる地域スポーツ団体への周知も強化することで、開放校の増加を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	①スポーツ・レクリエーション施設及び関連基盤の整備・充実
			施策の小項目名	○スポーツ・レクリエーションの場の確保
主な取組	市町村立学校体育施設の有効活用		対応する成果指標	県立社会体育施設の利用者数
施策の方向	・地域における身近なスポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、公共スポーツ・レクリエーション施設等の整備・充実と適切な管理・運営や学校体育施設の有効活用に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
市町村立学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の場所の拡充を図る。	県,市町村	市町村立学校体育施設の有効活用の促進		
		一般利用のために学校体育施設を開放している市町村数(内訳)		
		41市町村	41市町村(継続41市町村)	41市町村(継続41市町村)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
市町村立学校体育施設の開放に向けた課題等の情報収集を行った。				県と市町村間において、継続した施設開放に向けての課題等を共有し、引き続き県立学校体育施設とあわせて有効活用を推進する。		

活動指標名	一般利用のために学校体育施設を開放している市町村数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-市町村	-市町村	41市町村	41市町村	100.0%	順調	市町村立学校の体育施設については、既に全市町村において一般利用が可能となっているため、県での新たな取り組みは実施していない。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
既に全市町村において一般利用のために学校施設を開放していることから、県と市町村間においては、継続した施設開放に向けての課題等を共有し、県立学校体育施設とともに有効活用の推進を行う必要がある。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	市町村立学校体育施設の開放に向けた課題等の情報収集を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	市町村が所管する学校体育施設の開放について、今後も継続して開放するための課題等を共有し、県立学校体育施設とともに有効活用の推進を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	各学校体育施設を所管する市町村と連携を強化し、開放にあたっての課題等の解決に向けた検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	②県民の競技力向上・スポーツ活動の推進
			施策の小項目名	○小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実
主な取組	県民体育大会運営支援		対応する成果指標	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)
施策の方向	・小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実や各競技団体の主体的な課題解決の支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県スポーツ協会が、県民体育大会の開催を円滑におこなえるよう運営支援を行う。	県,県スポーツ協会,競技団体	スポーツ振興と県民生活を明るく豊かにするための県民体育大会の円滑な運営支援		
		県民体育大会参加人数(累計)		
		9,600人	9,600人(19,200人)	9,600人(28,800人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 県民体育大会事業費				予算事業名 県民体育大会事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	5,640	14,548	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	22,599
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
南部地区を主会場に開催し、41競技に8,585名が参加。19の採点競技による14市郡対抗戦を行った。				先島地区を主会場として開催予定。 夏期：6月～11月 秋季：11月 冬季：10月～12月		

活動指標名	県民体育大会参加人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	383人	269人	8,585人	9,600人	89.4%	概ね順調	全45競技中、41競技を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナ禍における競技会の開催について、沖縄県スポーツ協会及び各競技団体が感染対策を行い、41競技の大会を開催することができたが、4競技はコロナ感染防止のため開催できなかった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・参加者拡大のために広報活動の改善を図る。	・参加者拡大に向けて、競技団体を通じ積極的に広報活動を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の対策を講じ、41競技開催することができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	沖縄県スポーツ協会を中心に各競技団体と連携し、大会開催準備、運営が行われた。コロナ禍での開催方法について、競技団体による方針の策定・対策が行われた。	② 連携の強化・改善	大会参加者数の増加を目指すだけでなく、県スポーツ協会や各競技団体と連携し、競技の普及に向けた取り組みの検討が求められる。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	②県民の競技力向上・スポーツ活動の推進
			施策の小項目名	○小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実
主な取組	各競技団体選手育成等への取り組み支援		対応する成果指標	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)
施策の方向	・小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実や各競技団体の主体的な課題解決の支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各競技団体が主体的に取り組む、中長期的な視点による選手の育成・強化など、一貫した指導システムに対する支援を行い、競技力の向上を図る。	県,県スポーツ協会,競技団体	各競技団体が主体的に取り組む中長期的な視点で選手の育成、強化、課題解決を目的とした一貫した指導システムへの支援		
		競技力向上対策事業実施競技団体数		
		13競技団体	14競技団体	15競技団体
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 競技力向上対策事業費				予算事業名 競技力向上対策事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	59,653	61,098	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	69,816
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
競技力向上対策事業の「企画提案型競技力対策事業」において、競技団体が主体となって取り組む中長期的な選手の育成・強化に対する支援を行った。				競技力向上対策事業の「企画提案型競技力対策事業」において、競技団体が主体となって取り組む中長期的な選手の育成・強化に対する支援を行う。		

活動指標名	競技力向上対策事業実施競技団体数		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		13競技団体	12競技団体	11競技団体	13競技団体	84.6%	概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

少年・成年合同合宿を行うことにより、模範となる先輩選手の技術や練習に取り組む姿勢など、ジュニア選手への影響があり本県選手の競技力向上につながった。令和4年度事業にエントリーする競技団体が募集枠より少なかったため、目標値を達成することができなかった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・トップレベルの選手を育成するためには、指導者の資質向上や各競技団体の体制強化、選手の県外流出への対応策など、関係団体と連携した取組が必要である。沖縄県スポーツ協会や関係団体等と連携を密にし、各競技団体へのヒアリング等を踏まえつつ、課題等の情報共有を図り、県内トップアスリートの競技力向上に取り組んでいく。	・日本トップチームの指導者を招聘し、講習会を開催するなど、指導者及び選手育成に取り組んだ。 ・指導者の海外派遣（世界強豪チーム）により、世界レベルの選手・指導者育成について現地視察を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	本事業の支援を受けていない、他の競技団体についても、主体的に選手育成に取り組むよう、普及・啓発が必要がある。	② 連携の強化・改善	県スポーツ協会及び各競技団体と意見交換を行い、各競技の選手育成に関する現状・課題について、議論・検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	②県民の競技力向上・スポーツ活動の推進
			施策の小項目名	○競技力の向上やトップアスリートの育成
主な取組	トップレベル選手育成支援		対応する成果指標	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)
施策の方向	<p>・ 県外チームの招聘や県外での強化試合の推進、コーチ等の招聘、専門的な知識・技能や高いコーチング能力に加え、コミュニケーションスキルの習得など、多様なニーズに的確に対応できる指導者の養成・確保、競技団体及び中体連・高体連と連携した少年種別の継続した強化支援等により、競技力の向上やトップアスリートの育成に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
オリンピック・パラリンピック競技大会、国際大会で活躍できる選手を輩出するため、トップアスリートの育成・強化に対する支援を行う。	県,県スポーツ協会,競技団体	オリンピック・パラリンピック競技大会、国際大会で活躍できる選手を輩出するため、トップアスリート育成、強化の支援		
		トップレベル選手育成事業の優秀選手奨励金対象選手数(累計)		
		19人	19人(38人)	19人(57人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 競技力向上対策事業費				予算事業名 競技力向上対策事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	59,653	61,098	県単等	補助	69,816
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
競技力向上対策事業の「トップレベルの選手育成事業」において、世界レベルの大会で活躍する県出身トップアスリートの育成強化を図った。				競技力向上対策事業の「トップレベルの選手育成事業」において、世界レベルの大会で活躍する県出身トップアスリートの育成強化を図る。		

活動指標名	トップレベル選手育成事業の優秀選手奨励金対象選手数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1人	15人	13人	19人	68.4%	やや遅れ	競技力向上対策事業の「トップレベルの選手育成事業」において、世界レベルの大会で活躍する県出身トップアスリートの育成強化を図る。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
優秀選手奨励事業として、世界選手権等の国際大会に出場する本県日本代表選手13名（6競技）に対して、奨励金を交付し支援を行った。奨励金の申請数が目標値に満たなかったため、達成できなかった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>トップレベルの選手を育成するためには、指導者の資質向上や各競技団体の体制強化、選手の県外流出への対応策など、関係団体と連携した取組が必要である。沖縄県スポーツ協会や関係団体等と連携を密にし、各競技団体へのヒアリング等を踏まえつつ、課題等の情報共有を図り、県内トップアスリートの競技力向上に取り組んでいく。</p>	<p>トップレベルの選手育成に向けて、国際大会出場の可能性のある選手に対し、県内外の合宿や競技用消耗品の補助などを行う「ワールドクラスアスリート育成強化事業」を実施し、県内トップアスリートの競技力向上に取り組んだ（16名（6競技））。そのうちの5名（2競技）の選手を含む、13名（6競技）が国際大会に出場し、優秀選手奨励金対象選手となった。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	より効果的な支援が行えるよう、県内競技団体との密な連携や競技力向上対策委員会等において、十分な検討が必要である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	奨励金の申請数が目標値に満たなかった理由として、代表選考会等において国際大会への出場枠を獲得できなかったことなどが考えられる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	競技団体との意見交換や、競技力向上対策委員会において十分な連携・検討を行い、より効果的な支援ができるよう取り組む。
⑤ 情報発信等の強化・改善	競技団体に対し、競技力向上対策事業の活用を促すとともに優秀選手奨励事業の周知を図る。また、競技力向上対策委員会においてより効果的な支援策について検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	②県民の競技力向上・スポーツ活動の推進
			施策の小項目名	○競技力の向上やトップアスリートの育成
主な取組	指導者対策事業		対応する成果指標	県出身日本代表スポーツ選手累計 (国際大会)
施策の方向	<p>・ 県外チームの招聘や県外での強化試合の推進、コーチ等の招聘、専門的な知識・技能や高いコーチング能力に加え、コミュニケーションスキルの習得など、多様なニーズに的確に対応できる指導者の養成・確保、競技団体及び中体連・高体連と連携した少年種別の継続した強化支援等により、競技力の向上やトップアスリートの育成に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄県中学校体育連盟、沖縄県高等学校体育連盟、沖縄県スポーツ協会(加盟競技団体)の三者により、実践研究発表、講演会等を行い指導者の資質向上を図る。</p>	<p>県,県スポーツ協会,中体連,高体連,</p>	<p>指導力の向上、人権意識の高揚等バランスのとれた指導者の養成、確保の支援</p>		
		<p>沖縄県体育スポーツ・実践研究大会参加人数(累計)</p>		
		150人	150人(300人)	150人(450人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	競技力向上対策事業費			予算事業名	競技力向上対策事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	59,653	61,098	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	69,816
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
女子バスケ元日本代表による講演、中体連や高体連による調査研究報告、剣道、柔道、ソフトボール、水球の各競技団体による実践報告が行われた。				沖縄県スポーツ協会と提携している朝日大学の講演のほか、中体連や高体連の調査研究報告、競技団体の実践報告を予定している。		

活動指標名	沖縄県体育スポーツ・実践研究大会参加人数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		-人	-人	127人	150人	84.7%	概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

過去2年間開催できない状況において、令和4年度は参集形でコロナ以前の状況で開催することができた。
しかし、参集に抵抗のある指導者もいたことから、オンデマンド配信による対応も行ったが、目標値を達成することができなかった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	コロナの影響により2年間開催できていなかったが、令和4年度は参集形で開催することができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	会場の人数制限のため積極的な周知は行っていなかったが、内容については好評であった。周知方法を工夫することにより参加者増が見込まれる。	② 連携の強化・改善	研究発表大会参加者の要望を踏まえ、開催時期や周知活動、グループ協議の実施など、充実した大会となるよう、開催内容を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○生涯スポーツ社会の実現
主な取組	総合型スポーツクラブの創設・育成		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域スポーツ環境を充実させ、県民の運動・スポーツをする機会創出を図り、生涯スポーツ社会の実現に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
生涯スポーツ社会実現を目指す国のスポーツ振興基本計画に基づき、沖縄県では平成21年8月に沖縄県広域スポーツセンターが設置された。沖縄県広域スポーツセンターにおいて、総合型地域スポーツクラブの創設・育成をはじめ運営や活動、地域スポーツクラブ指導者の養成・確保等に関する支援を行う。	県	総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援		
		総合型地域スポーツクラブ数(内訳)		
		63クラブ(新規1クラブ、継続62クラブ、累計63クラブ)	64クラブ(新規1クラブ、継続63クラブ、累計64クラブ)	65クラブ(新規1クラブ、継続64クラブ、累計65クラブ)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/sports/shinko/kouiki2.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 広域スポーツセンター事業費				予算事業名 広域スポーツセンター事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	3,052	3,059	県単等	直接実施	2,352
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
クラブ創設及び育成支援のため、クラブ訪問を通じた助言・指導、登録認証制度の登録促進、クラブ研修会の開催及び市町村訪問を実施した。				クラブ訪問を通じたクラブへの助言・指導、登録認証制度の登録促進を図る。クラブ研修会及び市町村担当者会議、市町村訪問を実施する。		

活動指標名	総合型地域スポーツクラブ数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	63クラブ	63クラブ	63クラブ	63クラブ <small>(新規1クラブ、継続62クラブ、累計63クラブ)</small>	100.0%	順調	幅広い世代の人々が興味や競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型の総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援するため、助言指導、登録認証制度の周知を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>クラブ訪問を通じた助言・指導、市町村担当者・クラブを対象に総合型地域スポーツクラブ研修会を実施した（4クラブ10市町村合計20名参加） 令和4年度の総合型地域スポーツクラブ育成数は63クラブで、計画値である63クラブを達成した。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの活性化と円滑な運営に資するため、クラブアドバイザーを通して、他クラブの成功事例や行政連携事例等を含めた助言・指導を行う。 ・市町村訪問や担当者会議等を通じ、市町村や関係団体等との連携を強化し、総合型クラブが地域の中で主体的に活動できるよう環境整備を図る。 ・沖縄県スポーツ協会と支援に関する役割分担や登録認証制度に係る体制を整理するなど、執行体制及び協働体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ研修会において、行政連携事例の紹介をクラブ・市町村に対して行った。 ・クラブと市町村担当者で合同研修会を実施し、その中で意見交換を行う機会を創出した。 ・沖縄県スポーツ協会と連携し、総合型スポーツクラブ連絡協議会委員会において沖縄県スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ登録認証制度諸規定の改正やクラブ訪問を通じて登録促進を図った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	地域課題の解決のための総合型クラブと市町村や関係団体等との連携が十分とは言えない状況である。
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染拡大による活動数減少により減った会員を取り戻すことができず規模の縮小を強いられている。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	登録認証制度の登録クラブを増加させていくために、登録認証制度に加盟をするメリットを見いだすことが課題である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	地域における総合型クラブの位置づけを明確にし、地域とともに活発に活動していける環境整備を図るため、引き続き市町村や関係団体等との連携を図っていく必要がある。
⑤ 情報発信等の強化・改善	クラブ訪問等を通して、規模の縮小を強いられているクラブに対して行政との連携や情報発信の方法など助言・指導を行っていく。
③ 他地域等事例を参考とした改善	登録クラブが活用することのできる助成事業などの充実を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○生涯スポーツ社会の実現
主な取組	クラブアドバイザーによる総合型地域スポーツクラブへの支援		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域スポーツ環境を充実させ、県民の運動・スポーツをする機会創出を図り、生涯スポーツ社会の実現に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
生涯スポーツ社会実現を目指す国のスポーツ振興基本計画に基づき、沖縄県では平成21年8月に沖縄県広域スポーツセンターが設置された。沖縄県広域スポーツセンターにおいて、総合型地域スポーツクラブの創設・育成をはじめ運営や活動、地域スポーツクラブ指導者の養成・確保等に関する支援を行う。	県,県スポーツ協会	クラブアドバイザーによる助言・指導の実施		
		クラブアドバイザーによる助言・指導の実施回数(累計)		
		25回	30回(55回)	30回(85回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/sports/shinko/kouiki2.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 クラブアドバイザー業務委託				予算事業名 クラブアドバイザー業務委託		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	2,389	1,765	県単等	委託	2,266
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
クラブ紹介・登録認証制度のパンフレット作成、クラブ・市町村訪問を通して助言・指導、登録認証制度説明会、総合型クラブ研修会を実施した。				クラブ訪問を通じたクラブへの助言・指導、登録認証制度の周知等を行う。クラブ指導者育成として、アシスタントマネージャー養成講習会を開催する。		

活動指標名	クラブアドバイザーによる助言・指導の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	59回	25回	19回	25回	76.0%	概ね順調	幅広い世代の人々が興味や競技レベルに合わせて様々なスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援するため、クラブアドバイザーによる助言指導、クラブ研修会等の開催を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>クラブアドバイザーによる助言・指導の実施19回（クラブ訪問8回、市町村訪問5回、設立への問い合わせ6件）、総合型地域スポーツクラブ登録認証説明会の開催（28名参加）、総合型地域スポーツクラブ研修会を開催（20名参加）した。しかし、令和4年度中にクラブアドバイザーの交代があり、業務を円滑に進めることができず目標値に達することができなかった。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの活性化と円滑な運営に資するため、クラブアドバイザーを通して、他クラブの成功事例や行政連携事例等を含めた助言・指導を行う。 ・市町村訪問や担当者会議等を通じ、市町村や関係団体等との連携を強化し、総合型クラブが地域の中で主体的に活動できるよう環境整備を図る。 ・沖縄県スポーツ協会と支援に関する役割分担や登録認証制度に係る体制を整理するなど、執行体制及び協働体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ研修会において、行政連携事例の紹介をクラブ・市町村に対して行った。 ・クラブと市町村担当で合同研修会を実施し、その中で意見交換を行う機会を創出した。 ・総合型スポーツクラブ連絡協議会委員会において沖縄県スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ登録認証制度諸規定の改正やクラブ訪問を通じて登録促進を図った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	地域課題の解決のための総合型クラブと市町村や関係団体等との連携が十分とは言えない状況である。
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染拡大による活動数減少により減った会員を取り戻すことができず規模の縮小を強いられている。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	登録認証制度の登録クラブを増加させていくために、登録認証制度に加盟をするメリットを見いだすことが課題である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	地域における総合型クラブの位置づけを明確にし、地域とともに活発に活動していける環境整備を図るため、引き続き市町村や関係団体等との連携を図っていく必要がある。
⑤ 情報発信等の強化・改善	クラブ訪問等を通して、規模の縮小を強いられているクラブに対して行政との連携や情報発信の方法など助言・指導を行っていく。
③ 他地域等事例を参考とした改善	登録クラブが活用することのできる助成事業などの充実を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○広くスポーツ・レクリエーションに参画できる環境の構築
主な取組	女性のライフステージに応じたスポーツ参加の促進		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・市町村、スポーツ・レクリエーション関連団体等と連携しながら、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、様々な世代や個人が持つ多様性に応じて、広くスポーツ・レクリエーションに参画できる環境の構築、スポーツ・レクリエーション参加の機会拡充に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
女性のスポーツに対するイメージを変え、楽しさをきっかけに参加できるような取組を推進する。	県	女性のスポーツ参加の促進		
		女性のスポーツ実施率		
		56.5%	57.0%	57.5%
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 社会体育活動支援事業費				予算事業名 社会体育活動支援事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	1,188	3,235	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	3,154
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
9月から12月にかけて、県民に身近にスポーツを親しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭（25種目）を開催した。				スポーツへの関心と意欲を高めるため、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を実施する。		

活動指標名	女性のスポーツ実施率		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		58.7%	54.3%	44.9%	56.5%	79.5%	概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

スポーツ実施率調査によると、女性がスポーツを実施しなかった理由として、「仕事や家事が忙しい」が一番多く、また、「子どもに手が掛かる」、「運動・スポーツが嫌い」、「面倒くさい」との理由は男性よりも高く、目標値の達成に至っていない。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
沖縄県スポーツ・レクリエーション祭は、参加者が増えても三密が避けられる種目別の別日・別会場開催を継続するほか、より多くの種目で開催できるよう参加団体へ感染防止対策に関する情報提供等のサポートを行うなどして、コロナ禍での安全な開催と参加者確保の両立を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、沖縄県の策定した各種対処方針等を基に、大会運営に必要な対策を十分講じるよう沖縄県スポーツ協会及び沖縄県レクリエーション協会から各加盟団体へ周知を徹底した上で、9月4日から翌年1月9日にかけて、日程・開場を分散する形で開催し、安全な開催と参加者確保の両立に努めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	主に「仕事や家事が忙しい」、「子どもに手が掛かる」、「運動・スポーツが嫌い」、「面倒くさい」、「コロナウイルス感染症対策により日常生活が変化した」との理由でスポーツの実施に至っていない。	⑦ 取組の時期・対象の改善	女性をターゲットに、スポーツに対するイメージを変え、楽しさをきっかけに気軽に参加できるような種目を取り入れた体験型での開催を検討し、関係機関とも連携しながら女性のスポーツへの参加を促す。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○広くスポーツ・レクリエーションに参画できる環境の構築
主な取組	高齢者の体力や健康状態に応じたスポーツ参加の促進		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・市町村、スポーツ・レクリエーション関連団体等と連携しながら、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、様々な世代や個人が持つ多様性に応じて、広くスポーツ・レクリエーションに参画できる環境の構築、スポーツ・レクリエーション参加の機会拡充に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県レクリエーション協会等の関係機関との連携を図り、高齢者が体力や健康状態に応じたスポーツ・レクリエーションに親しむことのできる環境づくりを行う。	県	高齢者のスポーツ参加の促進		
		高齢者のスポーツ実施率		
		69.0%	69.5%	70.0%
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	社会体育活動支援事業費			予算事業名	社会体育活動支援事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	1,188	3,235	県単等	委託	3,154
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
9月から12月にかけて、県民に身近にスポーツを親しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭(25種目)を開催した。				スポーツへの関心と意欲を高めるため、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を実施する。		

活動指標名	高齢者のスポーツ実施率		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	70%	65.4%	66.9%	69.0%	97.0%	順調	身近にスポーツを親しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭(25種目)を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県スポーツ・レクリエーション祭では、体操やパタンクなど高齢者でも参加しやすい種目を開催しており、達成割合は97%と順調である。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
沖縄県スポーツ・レクリエーション祭は、参加者が増えても三密が避けられる種目別の別日・別会場開催を継続するほか、より多くの種目で開催できるように参加団体へ感染防止対策に関する情報提供等のサポートを行うなどして、コロナ禍での安全な開催と参加者確保の両立を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、沖縄県の策定した各種対処方針等を基に、大会運営に必要な対策を十分講じるよう沖縄県スポーツ協会及び沖縄県レクリエーション協会から各加盟団体へ周知を徹底した上で、9月4日から翌年1月9日にかけて、日程・開場を分散する形で開催し、安全な開催と参加者確保の両立に努めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	スポーツ実施率調査において、高齢者(60歳以上)は、「コロナウイルス感染症対策により日常生活が変化した」、「面倒くさい」との理由からスポーツの実施に至っていない割合が高くなっている。	② 連携の強化・改善	高齢者が体力や健康状態に応じたスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、沖縄県レクリエーション協会等との連携を強化し、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭の開催に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの推進と県民がスポーツをする機会の充実
主な取組	スポーツコンベンションへの県民参加促進		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・スポーツコンベンションの推進と県民がスポーツをする機会の充実をバランスよく進めることができるよう、スポーツを活用した施策として、地域外からの交流人口の拡大を推進するアウトター施策と地域住民向けの健康維持増進や共生社会等の実現を推進するインナー施策の双方に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
Sports Islands OkinawaブランドによるSNS、HP等を通じたスポーツコンベンションの推進と県民のスポーツ参加機会の拡充に取り組む。	県,市町村	Sports Islands OkinawaブランドによるSNS、HP等を通じたスポーツコンベンションの推進と県民のスポーツ参加機会の拡充		
		スポーツコンベンション県内参加者数(累計)		
		97,432人	100,000人(197,432人)	110,000人(307,432人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	https://okinawasportsisland.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
-	-			主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
スポーツコンベンションの受入促進や誘致に係る取組とあわせて、県民の参加促進に向けた取組を行った。				県民のスポーツ参加の機会拡充として、既存の沖縄県主催のスポーツイベントへの参加促進も含め取組の具体化に向けた検討を行う。		

活動指標名	スポーツコンベンション県内参加者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		5,272人	11,147人	46,198人	97,432人	47.4%	大幅遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

スポーツコンベンションの件数 (657件) については、コロナ禍前である令和元年度の件数 (676件) まで回復してきてはいるものの、県内参加者数については、目標値である令和元年度基準値の半数を下回り、大幅遅れとなっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	スポーツコンベンションの受入促進や誘致に係る取組とあわせて、県民の参加促進に向けた取組を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	スポーツコンベンションの受入促進や誘致に係る取組から重点的に取り組んできたため、県民のスポーツコンベンションへの参加を重視した予算措置や取組が不足している。	① 執行体制の改善	県主催の沖縄県スポーツ・レクリエーション祭において誰でも気軽に参加できる種目を取り入れた体験型での開催とともにその他スポーツコンベンションへの参加促進に向けた具体的な取組も検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○スポーツコンベンションの推進と県民がスポーツをする機会の充実
主な取組	県民の誰もがスポーツに親しむことができる機会の創出		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・スポーツコンベンションの推進と県民がスポーツをする機会の充実をバランスよく進めることができるよう、スポーツを活用した施策として、地域外からの交流人口の拡大を推進するアウトター施策と地域住民向けの健康維持増進や共生社会等の実現を推進するインナー施策の双方に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民の健康な身体の育成・保持増進のため、スポーツ・レクリエーション祭を開催し、スポーツ実施機会の増加を図る。	県	スポーツ・レクリエーション祭の開催		
		スポーツ・レクリエーション祭参加者数(累計)		
		8,500人	9,000人(17,500人)	9,500人(27,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	社会体育活動支援事業費			予算事業名	社会体育活動支援事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	1,188	3,235	県単等	委託	3,154
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
9月から12月にかけて、県民に身近にスポーツを親しむ機会の提供として、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭（25種目）を開催した。				県民のスポーツへの関心と意欲を高めるため、引き続き沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を実施する。		

活動指標名	スポーツ・レクリエーション祭参加者数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2,035人	コロナの影響により中止	3,859人	8,500人	45.4%	大幅遅れ	9月から12月にかけて、沖縄県スポーツ・レクリエーション祭を開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響も続き、一部種目で中止となった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県スポーツ・レクリエーション祭は、例年約40種目で開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響も続き、25種目での開催となり、参加者も目標値の半数以下で目標達成には至らなかった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
沖縄県スポーツ・レクリエーション祭は、参加者が増えても三密が避けられる種目別の別日・別会場開催を継続するほか、より多くの種目で開催できるように参加団体へ感染防止対策に関する情報提供等のサポートを行うなどして、コロナ禍での安全な開催と参加者確保の両立を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、沖縄県の策定した各種対処方針等を基に、大会運営に必要な対策を十分講じるよう沖縄県スポーツ協会及び沖縄県レクリエーション協会から各加盟団体へ周知を徹底した上で、9月4日から翌年1月9日にかけて、日程・開場を分散する形で開催し、安全な開催と参加者確保の両立に努めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症の影響も収束したことを踏まえ、目標値の達成に向け、より多くの県民の参加に繋がる方法を検討する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	誰でも気軽に参加できる種目を取り入れた体験型での開催を検討し、県民のスポーツ活動への参加を促す。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(9)-イ	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備	施策	③県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進
			施策の小項目名	○スポーツ・レクリエーションを通じた健康維持増進
主な取組	県立社会体育施設におけるスポーツ・レクリエーション教室の開催		対応する成果指標	スポーツ実施率
施策の方向	・生活習慣病や肥満の予防など県民の健康寿命の延伸のため、スポーツ・レクリエーションを通じた健康維持増進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、生涯スポーツ社会の実現と競技スポーツの振興を図るため、奥武山総合運動場において指定管理者制度を導入し、スポーツ・レクリエーション教室を開催する。	県,指定管理者	スポーツ・レクリエーション教室の開催		
		スポーツ・レクリエーション教室の開催件数(累計)		
		60件	65件(125件)	70件(195件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【 098-866-2708 】		関連URL	http://www.ounoyama.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	社会体育施設管理運営費			予算事業名	社会体育施設管理運営費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	182,200	181,600	県単等	委託	182,400
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
指定管理者による自主事業として、テニス等の他種目にわたるスポーツ教室のほか、クライミング体験や混合バレー等のイベントも実施した。				スポーツ実施率の向上に向け、指定管理者と連携し、定期開催するスポーツ教室を継続するほか、体験型のイベント等の拡充も検討する。		

活動指標名	スポーツ・レクリエーション教室の開催件数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	32件	32件	71件	60件	100.0%	順調	テニス、水泳、ヨガ等の他種目にわたる成人向けのスポーツ教室や、体操、水泳、空手等の子ども向けの教室のほか、クライミング体験や混合バレーといったイベントも開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

60件の開催目標に対して71件の開催となり、コロナ禍の影響があった前年度よりも大幅に増加し、目標値を上回った。また、定期教室の参加者によるアンケート結果も満足度が99%という高い結果となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>多様な利用状況に対応できるよう、指定管理者や関係団体等との調整を十分に行い、利用者の利便性向上を図っていく。</p> <p>コロナ禍においても適切に管理運営ができるよう、感染拡大防止対策、感染状況の把握、施設の利用制限の実施について細かな情報共有を行う。</p>	<p>指定管理者による自主事業の開催においては、定期とは別に単発の教室も開催するなど、ニーズを踏まえた展開を行い、県の指針に基づき適切な感染拡大防止対策のもと運営を行った。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	スポーツ・レクリエーション教室の種目や開催方法など、参加者からの改善要望も踏まえ、体育施設の管理運営を行う指定管理者と課題等を共有して検討していく必要がある。	② 連携の強化・改善	参加者からの改善要望も踏まえて継続した開催ができるよう指定管理者との連携を強化し、引き続きアンケートによる参加者のニーズの把握にも努める。